

進路指導部だより

令和3年度

第6号

保護者の皆様におかれましては、コロナウィルス感染症にかかわる対応等、ご理解ご協力ありがとうございます。高等部の第3期現場実習は、実習の期間を短縮したり、事業所によっては実習時期を延期したりするなどしています。高等部3年生については、社会人としての準備が大詰めとなっています。それぞれが、希望に満ちた春が迎えられることを願っています。

今回の進路だよりでは、B部門小学部における進路学習に関する取り組みについて紹介します。

～B 部門小学部の具体的な取り組みとつながる力～

<1年生の取り組み>



「バスカードかかり」では、毎日同じ時刻にカードを集めて、昇降口のカードケースに提出します。カードとケースの号車の番号を照らし合わせながら、間違えないように1枚ずつ丁寧にに入れていきます。



～つながる力～

係活動は、クラスの一員として継続的に仕事を行います。自分の役割を意識し、最後まで仕事をやり遂げることで、責任感と達成感を育むことにつながっていきます。

<2年生の取り組み>

スクールバス降車時、添乗員さんへの挨拶をしているところです。「おはようございます。」「いってきます。」などの日常的な挨拶が元気にできるよう、毎日取り組んでいます。



～つながる力～

挨拶や依頼を行うことは、集団生活への参加に必要な力です。身近な社会とのかかわりについて関心を深めたり、自立的な生活をしたりすることにつながります。

<3年生の取り組み>



毎朝、登校後、自分の荷物をかばんから出したり、ロッカーにしまったりしています。「自分のできることを自分でやる」というねらいで、毎日取り組んでいます。



～つながる力～

自分でできることを自分でやる経験は、自立した生活への一歩です。小さなことでも自分でできた、という経験の積み重ねが自信につながり、もっとやってみたいという意欲につながります。

<4年生の取り組み>

自立活動で「こまづくり」をしました。牛乳パックをハサミで切ったり、セロテープでキャップをはり付けたりして、こまが完成！こま回しをして遊びました。



～つながる力～

学習や生活の中で、はさみ、セロハンテープなどの身近な道具を使う経験を重ねると、より上手に、様々な道具が使えるようになっていきます。道具を安全に上手に使えるようになると、好きなものを作る余暇活動や、道具を使った仕事をする力につながります。

<5年生の取り組み>



5年生から、委員会活動が始まります。保健委員会または整備委員会に入り、小学部全体のために活動しています。保健委員会では、消毒液や石鹸のボトルを回収し、保健室で補充してもらったものを各学年に届けています。



～つながる力～

みんなのために活動することを通して、相手に理解してもらえるように分かりやすく伝えたり、相手から感謝されたりするなどの体験を積み重ねます。その経験が、職場や集団の中で自分の役割を主体的に果たす力につながります。

<6年生の取り組み>

日常生活の中で、係活動に取り組んでいます。バスカード係では、バスカードに記入する前に「記入します」と教師に声を掛け、記入が終わったら「確認をお願いします」と依頼し、ケースに入れ終わったら「終わりました」と伝えることで、正しく仕事ができるように取り組んでいます。



～つながる力～

係の仕事をするときに、確認依頼や終わった報告をする約束をして取り組んでいます。将来、社会に出て仕事をする上で、自分に任された仕事に対して責任感をもち、正確に最後まで取り組む力につながります。

活動の中で、最初は難しいと感じていたことであっても、教師の支援を受けながら繰り返しチャレンジしていくことで、できるようになることがたくさんあります。あきらめずに取り組んだことで、「できた！」という気持ちが自信になります。また、「ありがとう」「がんばっているね」などの称賛や励ましの言葉が、意欲となって、次の課題へ向かう原動力になっています。日々の積み重ねが、将来の進路選択につながる力になっていきます。

**☆自立に向けてチャレンジし、ステップアップする機会は、
日常のありとあらゆる場面にあふれています！**

2月のB部門小学部の進路懇談は中止となりましたが、今後『進路選択に向けて 日々の取り組みの先に』というテーマの資料を配付する予定です。進路の選択肢や選択によって変化する生活のイメージ、進路選択に向けて必要な力について参考にいただければと思います。今後も、家庭と学校で協力して取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。